

## 令和2年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和2年11月12日

上場会社名 木徳神糧株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2700 URL <https://www.kitoku-shinryo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平山 惇  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門統括 (氏名) 稲垣 英樹 (TEL) 03-3233-5121  
 四半期報告書提出予定日 令和2年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年12月期第3四半期の連結業績(令和2年1月1日~令和2年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2年12月期第3四半期	82,052	△5.8	100	△52.2	163	△33.6	68	△47.2
元年12月期第3四半期	87,062	2.1	210	△67.6	246	△63.7	130	△69.4

(注) 包括利益 2年12月期第3四半期 △90百万円(—%) 元年12月期第3四半期 156百万円(△51.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年12月期第3四半期	42.34	—
元年12月期第3四半期	79.23	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2年12月期第3四半期	23,826	9,585	39.7
元年12月期	31,138	9,771	31.0

(参考) 自己資本 2年12月期第3四半期 9,458百万円 元年12月期 9,639百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2年12月期	—	25.00	—	—	—
2年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和2年12月期の連結業績予想(令和2年1月1日~令和2年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	111,000	△5.6	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※令和2年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で適正かつ合理的に算出することが困難と判断し、営業利益以下の段階利益を未定としております。今後、業績予想の適正かつ合理的な算定が可能になった段階で速やかに公表いたします。なお、該当理由につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 -社(社名) 、除外 1社(社名) 台湾木德生技股份有限公司
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年12月期3Q	1,706,000株	元年12月期	1,706,000株
② 期末自己株式数	2年12月期3Q	85,539株	元年12月期	85,557株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2年12月期3Q	1,620,473株	元年12月期3Q	1,641,679株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(令和2年1月1日～令和2年9月30日)におけるわが国の経済は、年初は緩やかな回復基調にあったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による移動制限・営業自粛等によって個人消費が大幅に減少しました。緊急事態宣言の解除後、経済活動は回復基調にあるものの、個人消費の落ち込みや雇用・所得環境の悪化に加え、感染が再び拡大する懸念もあり、本格回復には時間を要する状況にあります。国外情勢においても、各国における経済活動の制限緩和や経済対策による需要の回復には地域差があり、依然先行きは不透明な状況となっています。

当社グループが属する食品流通業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限でインバウンド需要が急減したほか、先行きへの不安から消費者の節約志向が根強いこと、感染リスクを下げるため、宴会の自粛や外食の抑制等が継続していることから厳しい状況が続いております。そのような状況のなか、疲弊した経済の再興を目的とした「Go Toキャンペーン」等、政府による需要喚起策も実施されており、今後の情勢を注視する必要があります。

当社グループの主力である米穀事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響による単ごもり需要の増加や食料品宅配サービスの伸長によって家庭用向けの販売数量は堅調に推移したものの、外出自粛や休業要請によって外食向け需要が大きく減少したことに加え、イベントの中止やオンライン化、テレワークによるオフィス街需要の減少等によりコンビニエンスストアを中心に中食向け需要も減少し、業務用向けの販売数量が大幅に減少しました。加えて、ミニマム・アクセスによる外国産米の販売数量が前年同期と比較して大幅に減少したこと等から、売上高は、82,052百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

また損益面では、主力の米穀事業の採算が悪化するなか、販売や生産体制の見直しを行いコスト削減に努めたものの、業務用向けの大幅な需要減少と、需要が大きく落ちこむなかで令和2年産米の豊作が見込まれる状況となり、令和元年産米の早期消化に努めたことで卸業者間の玄米販売利益が減少したこと等により、営業利益は100百万円(前年同期比52.2%減)、経常利益は163百万円(前年同期比33.6%減)となりました。

また、清算した台湾におけるたんぱく質調整米の製造・販売事業に係る資産の売却等による特別利益の計上があったものの、法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額を合わせた税金費用は、繰延税金資産の回収可能性の見直しなどにより増加したこと等から、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円(前年同期比47.2%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は23,826百万円となり、前連結会計年度末と比べ7,311百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の減少額609百万円、受取手形及び売掛金の減少額2,418百万円、たな卸資産の減少額3,541百万円、前渡金の減少額551百万円、投資有価証券の減少額178百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が14,240百万円となり、前連結会計年度末と比べ7,126百万円の減少となりました。これは主にその他流動負債の増加額563百万円等に対し、支払手形及び買掛金の減少額2,549百万円、短期借入金の減少額2,307百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少額2,755百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が9,585百万円となり、前連結会計年度末と比べ185百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少額18百万円、その他有価証券評価差額金の減少額142百万円等があったためであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社グループの主力である米穀事業における新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた業務用向けを中心とした需要減少により、販売数量については前期水準をやや下回る形で推移しておりますが、売上高の発表予想に変更はありません。一方、営業利益以下の各段階利益については米穀事業が低調に推移していることに加えて、需要の回復が遅れるなか令和2年産米の豊作が見込まれる状況となったことで、令和元年産米の一部在庫について販売価格の下落に伴う在庫評価損の計上が見込まれており、前回発表予想を大幅に下回る見込みです。しかしながら、現時点では未確定要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の算出が困難な状況であるため、営業利益以下の段階利益の金額については未定とさせていただきます、今後、適正かつ合理的な算定が可能となりました段階で速やかに公表いたします。なお、令和2年12月期の期末配当金の予想につきましては、現時点では修正の予定はございません。

## 通期連結業績予想数値の修正（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	110,000	400	430	330	203.64
今回発表予想 (B)	110,000	—	—	—	—
増減額 (B - A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (令和元年12月期)	117,612	76	624	676	413.44

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,570,978	1,961,887
受取手形及び売掛金	9,650,226	7,231,514
商品及び製品	3,732,375	2,592,730
仕掛品	311,013	273,938
原材料及び貯蔵品	5,115,878	2,751,221
前渡金	1,358,040	806,295
未収入金	78,657	75,697
未収還付法人税等	75,814	33,682
その他	168,890	107,780
貸倒引当金	△4,950	△12,452
流動資産合計	23,056,924	15,822,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,784,365	1,688,246
機械装置及び運搬具(純額)	868,660	879,141
土地	2,079,537	2,079,537
リース資産(純額)	6,737	95,413
その他(純額)	25,589	33,010
有形固定資産合計	4,764,890	4,775,350
無形固定資産		
ソフトウェア	21,949	36,417
リース資産	1,197	73,818
その他	22,838	31,574
無形固定資産合計	45,984	141,811
投資その他の資産		
投資有価証券	2,848,683	2,669,796
長期貸付金	861	635
長期前払費用	24,121	24,500
差入保証金	343,720	341,521
リース債権	15,333	14,358
その他	50,123	78,228
貸倒引当金	△12,564	△41,794
投資その他の資産合計	3,270,277	3,087,246
固定資産合計	8,081,153	8,004,408
資産合計	31,138,077	23,826,704

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,299,814	2,749,867
短期借入金	5,766,916	3,459,094
1年内返済予定の長期借入金	3,722,304	3,152,862
リース債務	5,212	38,133
未払金	1,231,354	859,500
未払法人税等	15,388	9,719
賞与引当金	191,245	237,987
その他	555,536	1,119,490
流動負債合計	16,787,771	11,626,654
固定負債		
長期借入金	4,298,026	2,111,771
リース債務	2,721	131,099
繰延税金負債	50,260	136,777
役員退職慰労引当金	125,581	122,412
資産除去債務	84,335	77,866
その他	18,191	34,211
固定負債合計	4,579,117	2,614,138
負債合計	21,366,888	14,240,792
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	380,169	380,169
利益剰余金	8,687,860	8,669,018
自己株式	△287,888	△287,826
株主資本合計	9,309,641	9,290,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385,598	243,302
繰延ヘッジ損益	5,584	—
為替換算調整勘定	△61,758	△75,868
その他の包括利益累計額合計	329,424	167,433
非支配株主持分	132,123	127,616
純資産合計	9,771,189	9,585,911
負債純資産合計	31,138,077	23,826,704

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年1月1日 至令和2年9月30日)
売上高	87,062,683	82,052,760
売上原価	82,819,352	78,036,570
売上総利益	4,243,330	4,016,189
販売費及び一般管理費	4,033,203	3,915,835
営業利益	210,127	100,354
営業外収益		
受取利息	1,510	1,253
受取配当金	72,654	78,554
受取保険金	6,723	39,951
不動産賃貸料	18,890	17,663
貸倒引当金戻入額	393	712
その他	25,201	29,268
営業外収益合計	125,373	167,403
営業外費用		
支払利息	59,292	48,893
不動産賃貸費用	5,894	5,847
為替差損	12,037	547
燻蒸委託費用	—	37,106
その他	12,149	11,814
営業外費用合計	89,374	104,208
経常利益	246,126	163,549
特別利益		
固定資産売却益	711	76,183
投資有価証券売却益	—	1,827
補助金収入	6,050	1,739
資産除去債務戻入益	—	6,665
特別利益合計	6,761	86,415
特別損失		
固定資産除却損	1,603	335
解体撤去費用	15,100	—
工場閉鎖損失	—	6,674
特別損失合計	16,703	7,010
税金等調整前四半期純利益	236,184	242,954
法人税、住民税及び事業税	108,767	12,340
法人税等調整額	△16,639	153,380
法人税等合計	92,127	165,720
四半期純利益	144,056	77,233
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,981	8,617
親会社株主に帰属する四半期純利益	130,075	68,615



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年1月1日 至令和元年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年1月1日 至令和2年9月30日)
四半期純利益	144,056	77,233
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53,632	△142,296
繰延ヘッジ損益	62,830	△5,584
為替換算調整勘定	3,583	△19,815
その他の包括利益合計	12,781	△167,696
四半期包括利益	156,838	△90,463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	146,641	△93,374
非支配株主に係る四半期包括利益	10,196	2,911

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。